

つつじが丘自治会
西片泓自治会
グリーン文庫
「ハーバリウム」講習会


花の美しさを長期間楽しむことができる「ハーバリウム」。瓶の中に、ドライフラワーやプリザーブドフラワー（生花や葉を特殊液の中に沈めて水分を抜いた素材）などの花材を入れ、専用のオイルで閉じ込めます。「ハーバリウム」とは、もともとは「植物標本」のことを指しますが、部屋に飾るインテリアとして近年、注目を集めています。

9月14日(土)、プリザーブドフラワーを使っての「ハーバリウム」を手作りする講座が開催されました。ご指導いただく講師は、真山紫帆さんです。

参加者は、あらかじめ真山さんが準備くださった花材を、好みの色合いで選び、容器の中に入れていきます。参加者の一人は、「私はピンクが好きなんですけど、なかなかそのような色合いの洋服は着れない。だから、これにしました。」と、アジサイ、バラを中心にした花材を選ばれていました。真山さんからは、「これを入れると下に花が入らないので、この花を先に入れておきますか?」「こうすれば、どちらの面からもきれいに見えますよ」などと一人一人に、ご助言をいただきながら作品を仕上げることができました。


河陽が丘自治会 いきいきお料理くらぶ
「肉まん・チャーシューまん・あんまん」

奇数月に実施の「いきいきお料理くらぶ」。今年は「包む」ことをテーマに毎回のメニューを構成。前回の「そば薯蕷(じょうよ)饅頭」に続き、今回は「肉まん・チャーシューまん・あんまん」に挑戦です。指導者は、以前に生涯学習推進委員をされていた松下こずえさん。「ぜひ料理教室を続けてほしい」との要望に応え、活動を続けておられます。

9月7日(土)の参加者は14名。手を洗い身支度を整えて、松下さんが事前に準備してくださった具や生地に向かいます。具と生地を1個ずつの分量になるよう取り分け、麺棒を使って生地を丸い形に整えて、その上に具を置いたら、親指と人差し指・中指を使って包んでいきます。松下さんに包むコツを教えていただき、「生地を回していくような感じで…」「親指はそのまま…」などと、参加者同士も互いに教え合いながら「肉まん・チャーシューまん・あんまん」ができあがり、その後、蒸しあげてご家庭に持ち帰られました。ご家族でおいしく召し上がられたことでしょう。

次回は「小籠包」の予定。包む難度は高いようですが、今回までの練習成果を発揮して、おいしい小籠包ができそうです。



*** 中央生涯学習センター 団体交流室にご相談ください! ***

団体交流室では、生涯学習に関する講座を検討されている方に講師の紹介等をしています。お困りの際は、お気軽にご相談ください。(紹介例:御朱印帳や盆栽の教室をできる方、落語やマジックを披露できる方 他)

場所:バンビオ1番館 中央生涯学習センター 6階 / 電話:075-963-5518

開室時間:9:00~19:00(休室日:夏期2日間と年末年始) / EMAIL:syougaiakusyu@city.nagaokakyo.lg.jp



一文橋自治会 ひろほ 「御朱印帳」づくり



9月11日(水)、18日(水)の2日間をかけて、朱印帳を作成しました。御朱印は、写経をおさめた証としてお寺よりいただいた証書を指し、お寺とそこのお本尊の名前をしたため、当日の日付を入れた半紙に朱で押印してもらうため、「御朱印」と呼ばれてきました。現在では、写経をおさめなくても、参拝のしるしとしていただけるようです。

今回は、蛇腹式二重の朱印帳を作ります。ご指導いただくのは、佐藤煒水先生です。まずは、朱印をいただく頁の紙を20頁分、半分に折るところから始めます。「折るのは簡単な作業ですが、出来のよしあしが、ここで決まりますよ」の先生の声に、参加者は心をこめて折り進めていきました。折り上がると押しを加えて1時間ほど持ちます。その間、表紙になる厚紙部分の作成に取りかかります。厚紙を切り、「青海波」模様の布で表装していきます。模様が歪まないように、先生にご指導いただきながら作業を進めていきました。そして、押しをしておいた頁の紙を蛇腹になるように糊付けし、この日の工程は終了です。



2日目は、前回仕上げた朱印をいただく頁に、表紙を丁寧に糊付けし合体させて、御朱印帳の完成です。

「難しかったけれど、いいのができたね。」「できた。感動!」と皆さんご満悦でした。



完成した御朱印帳は、さらに1週間ほど押しをして糊の水分を取り、できあがりです。皆さん、自慢の御朱印帳を持って御朱印巡りをされることでしょう。



田内自治会 おほの会 「秋の壁かざり～案山子～」

9月7日(土)、「今日も暑いねえ」との挨拶とともに参加者が集まってこられました。厳しい残暑の続く中、一足早く秋の気配が漂う夕焼け空に「案山子」が涼しげに佇む風景の「かべかざり」を制作します。

作品見本を見て「できるかなあ」と不安げな参加者もおられました。が、「大丈夫、大丈夫。手伝ってもらったらできるよ」との優しい声かけに、安心して席に着かれました。



参加者の机の上には、スタッフが準備された細かな部品が揃えられており、スタッフの一員である福井さんに手順を教えていただきながら、細かな作業を進めていきました。台紙の枠に和紙を貼り、案山子を作り上げると「案山子を台紙に貼れたら、お茶を飲んで休憩してください」と熱中症にも気を配りながら、作業を進めていきました。仕上げは、稲穂と赤とんぼ。「昔は、こよりをよく作っていたけど、うまくできないわ」と言いながら、細かな作業を進めていき、子どもの頃に馴染んだ懐かしい田園風景が完成しました。

完成した壁かざりは、団体交流室で展示しています。是非、ご覧ください。

【ご案内】

生涯学習課では、各自治会等での取組を「生涯学習活動だより『自遊学』」に随時掲載し、各自治会にお届けしています。

各自治会等で取組を実施されます際には、日時・内容等を事前にご案内いただきましたら取材に伺います。また、お伺いできなかった取組につきまして、内容等を事後にご報告いただきましたら、「自遊学」でご紹介させていただきます。

【問合せ】 長岡京市教育委員会 生涯学習課生涯学習・文化財係 電話:075-955-9534 FAX:075-954-8500

EMAIL: syougaigakusyuu@city.nagaokakyo.lg.jp